

足利市議会議員

みんなで創ろう みんなの足利



栗原おさむ News



【速報】 令和3年第3回足利市議会定例会が3月24日に閉会しました。
令和3年3月議会で議論された西宮林野火災、足利高校、新市民会館問題、さわらびハイム足利の廃止等について抜粋してご報告いたします。

遅すぎた自衛隊派遣要請

山火事・初動の重要性

山火事への自衛隊派遣要請の時間差

初日に、自衛隊を呼んでと頼んだのに！
(消防団の声)



全国平均
180分

桐生市
50分

足利市
1,114分
(18時間34分)

- 桐生市の山火事 ▶ 3日+1時間8分後に鎮火宣言
- 足利市の山火事 ▶ 22日+23時間41分後に鎮火宣言 (2/21~3/15)

2月に頻発した
山林火災の対応を
比べてみたら

区分	東京都青梅市	群馬県桐生市	栃木県足利市
発生日	2月23日(火)	2月25日(木)	2月21日(日)
火災発見	13:23	10:02	15:41
防災ヘリ要請	—	10:16 (14分後)	16:07 (26分後)
災害対策本部設置	19:30 (6時間7分後)	11:00 (58分後)	翌10:00 (18時間19分後)
自衛隊派遣要請	21:45 (8時間22分後)	10:52 (50分後)	翌10:15 (18時間34分後)
鎮圧	—	2月27日(土) 17:30 (2日+7時間28分後)	3月1日(月) 16:00 (8日+19分後)
鎮火	2月24日(水) 16:15 (1日+2時間52分後)	2月28日(日) 11:10 (3日+1時間8分後)	3月15日(月) 15:00 (22日+23時間41分後)
焼失面積	9.5ヘクタール	20ヘクタール	167ヘクタール

●自衛隊機 1回で水**5,000%**投下可能



約**15倍!**

●防災ヘリ 1回で水**300%**程度



自衛隊をもっと早く要請していれば!!



市民の声に耳を傾ける謙虚な姿勢と、公平で開かれた市政に！！

“とりあえず”なんて許さない！

女性のかげ込み寺『さわらごハイム足利（母子生活支援施設）』の廃止決定！

経済的理由やDV被害など様々な事情を抱える母子世帯の自立支援をする『さわらごハイム』が、令和3年度いっばいで廃止との報告がありました。（3/24 全員協議会）



- 理由 施設の老朽化やそれによる入所世帯の減少。
- 今後の方針 母子世帯の自立支援事業は住居の確保やアフターケアは続けていくものの、DV被害受け入れは廃止の方向。
- 同僚議員の質疑に対する市長答弁 「とりあえず廃止して、今後必要があったらまた考え直す」と。



県内3ヶ所しかないこの本市施設の廃止。ひとり親家庭の増加やコロナ禍によるDV被害が増加している中、栃木県、そして**本市の福祉が衰退してしまうのでは**と危機感を感じます。ひとり親家庭の苦勞を知っている分**“とりあえず廃止”**との答弁に**お試して考えてもらいたくない!**と強く思いました。

足利高校・市民会館問題。このままでいいのでしょうか？

足高・足女の統合、共学化に伴う市民会館整備については、市民の意見を聞かず、市独断で進めてしまったため、解体準備が進む一方で、新市民会館整備の行方が不透明になり、市の方針に多くの疑問の声が寄せられています。新たな市民会館の整備には数年程度かかり代替施設の確保なども急務となっています。

市民や議会の意見に声を傾け、その声を活かす開かれた市政でなくてはなりません。



市民会館条例の廃止を継続審査にした理由！！

新統合校（新足利高校）が県内有数の進学校を目指すためにも、学校教育環境を推進することには大賛成であり議会としても積極的に応援するが、あまりにも不確定要素が多いうえ説明不足であるため、市民会館だけ廃止・解体するのは市民の理解が得られない。

評価額 市民会館と足利高校の評価額は足利高校が3千万円高い。	所有権 名義変更が市民会館は直ちに、足利高校は3年後。
市道問題 市民会館と足利女子高の間の市道は価格に不算入。	活用案 交換後の足利高校用地の活用方針も示されていない。
将来像 新市民会館のあるべき姿など一切語られていない。	説明時期 土地評価額の説明が議会直前の2月15日と遅すぎる。

市民の大切な財産をこんな条件では可決できない！！

税金を1円たりともムダにしない市政運営を！

平成31年、ようやく和解した小俣処分場。使用期間延長の交渉が決裂してから解決まで4年を要しました。その間、それまで焼却灰の処理経費は年間2,300万円だったのに対し、市外で処理することになり、計9億2,200万円（約2,045万円×45ヶ月）。さらに処分場の解決金に1億3,600万円もの税金が使われました。市財政が厳しい中、私たちの税金を1円たりともムダにしないためにも、自ら先頭に立ち、調整力を発揮し早期に解決できるリーダーを望みます。



行政の事業は透明性・公平性の確保を！

消防本部や斎場の建て替えなどの大規模事業で、市外に本社を置く同一業者に設計を委託契約。また、児童生徒に1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを整備する「GIGAスクール構想」の入札では、議会審議を経ずに、端末と通信ネットワークを分けて入札を行ったにもかかわらず同一業者が落札しました。足利市では今後、市民会館や南部クリーンセンターなど大規模な公共施設の更新が予定されています。行政の事業で求められるのは、透明性と公平性の確保です。



栗原おさむ事務所

〒326-0824 足利市八幡町1-2-8
TEL:0284-72-8292 FAX:0284-73-6681

※お困り事や不都合な点などございましたら、お気軽にお申し付けください

